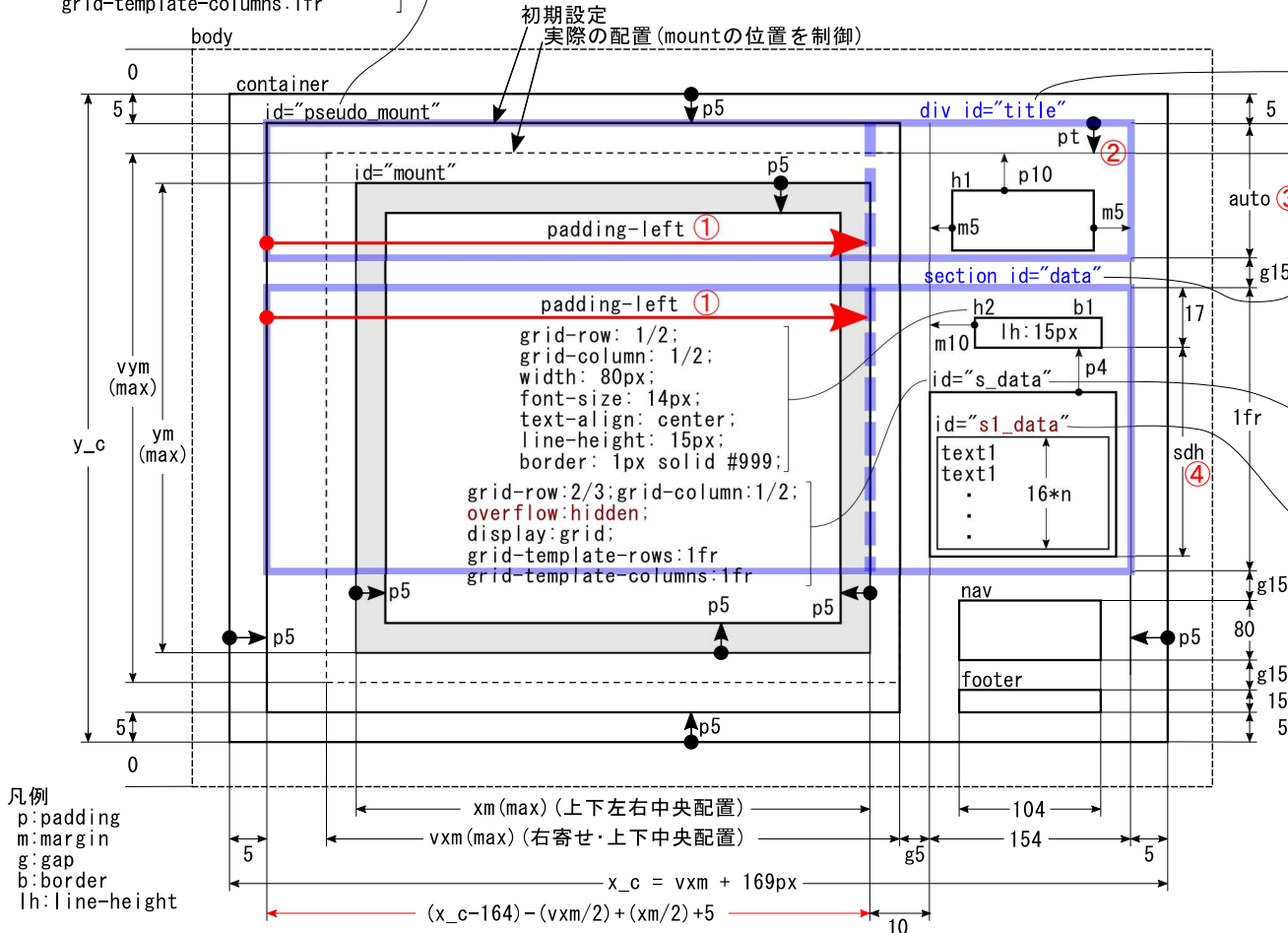


デザインSB1(右利き)のBOXレイアウト

```
#pseudo_mount (mountを管理するための仮想枠)
grid-row:1/5;grid-column:1/2
justify-self:end; 右揃え
align-self:center; 上下中央揃え
display:grid;
grid-template-rows:1fr;
grid-template-columns:1fr
```

※表記しているサイズはCSS設定値にあらず。
padding塔を含んだcontent-box

新規作成 2024.02.22
最終更新 2024.05.08



```
grid-row: 1/2; grid-column: 1/3;
```

```
padding-top
②=(y_c-vym)/2+10 最小値15px
```

③clientHeightで取得する。行数が少ない場合はその分がsdhに配分される

```
grid-row:2/3;grid-column:1/3
align-self:end; 下揃え
display:grid;
grid-template-rows:19px 1fr;
grid-template-columns:1fr;
align-content:end; 子要素下揃え
```

- ・撮影データを上揃えで格納。
- ・overflow処理にはheightの設定が必要。親要素dataのalign-self:endでs_dataにheightが明示的に生成する。しかし、16px刻みのheightとするためにsdh(height素データ)を処理してs_dataのheightとして動的に設定する。
- ・case1において、このs1_dataのheightをs_data要素のheight(sdh素データ)として設定する。
- ・s_dataのoverflow:hidden設定で、s1=dataがoverflowしてもs1_data要素のheight自体は変化しない。
- ・s1_data要素が存在しない場合は、s_dataのheightを(sdh素データ)として取得する。s1_dataはスマホ横画面で非表示とすることができる。(この機能のためにs1_dataが存在する。)

■右カラムの高さ

- ・y_c=5+③+15+17+④+15+80+15+15+5
- ・y_c=③+④+167
- ②=(y_c-vym)/2+10 最小値=15 (vym=y_c-10の場合)
- ③=②+20m+10 m: タイトルの行数
- ・sdh(④)=y_c-③-167

※事例(1): h1は3行、②=15(最小値)

- ・sdh(④)=y_c-85-167=y_c-252
- ・y_c=④+252

※事例(2): h1は1行、②=15(最小値)

- ・sdh(④)=y_c-45-167=y_c-212
- ・y_c=④+212 (h1の減った分がsdhに配分される)

■s_dataの表示可能行数(sdh=④)

y_c	h1:1行		h1:2行		h1:3行	
	sdh	data行数	sdh	data行数	sdh	data行数
68	4	48	2	28	1	
280	4	58	3	38	2	
290	5	68	4	48	2	
300	5	78	4	58	3	
310	6	88	5	68	4	
320	7	98	5	78	4	
330						

■sdhのCSSへの設定に際しては16pxごとの数値として適用する。

- case1:sdh=Math.floor((y_c-③-167)/16)*16
- case2:sdh=Math.floor((s1_data要素のheight)/16)*16

凡例
p:padding
m:margin
g:gap
b:border
lh:line-height

(pseudo_mountの横方向中心点から右にmountの半分の位置、すなわちmountのpaddingの右端)

■運用ルール

s1_dataは短辺320pxのスマホで確実に表示できる4行を目安に記載する。
5行目以上のデータについては、PCではウィンドウサイズによっては10行以上表示可能だが、コンパクトにまとめることが望ましい。

■写真サイズに合わせて動的に設定

- ① = (x_c-164)-(vxm/2)+(xm/2)+5
- ② = (y_c-vym)/2
- ④ case1= Math.floor((y_c-③-167)/16)*16
- case2= Math.floor((s1_data要素のheight)/16)*16

case1:y_c-③-167 < s1_dataのheight値
case2:y_c-③-167 => s1_dataのheight値